【バッテリー(12V)上がりやバッテリー(12V)を外した場合に再設定が必要となるシステム】

≪発:発売　フ:フルモデルチェンジ　マ:マイナーチェンジ≫

CX-3	2015/02発～				
CX-5	2012/02発～				
CX-7	2006/12発～				
MPV	2006/02フ～				
RX-8	2003/04発～				
アクセラ	2003/10発～	2009/06フ～	20011/09マ～	2013/11フ～	
アクセラ　ハイブリッド	2013/11発～				
アテンザ	2002/05発～	2008/01フ～	2012/11フ～		
デミオ	2002/08フ～	2007/07フ～ SKYACTIV以外	2011/06マ～ SKYACTIV	2014/09フ～	
ビアンテ	2008/07発～	2013/05マ～			
プレマシー	2005/02フ～	2010/07フ～	2013/01マ～		
ベリーサ	2004/06発～				
ロードスター	2005/08フ～	2015/05フ～			

■CX-3（DK）2015年2月発売～

システム	時計	トリップメータ	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ
作動状況	止まる	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず
設定方法	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照

■PW（パワーウィンド）

1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop

お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談頂きますようお願いいたします。

Top

■CX-5（KE）2012年2月発売～

システム	タイヤ空気圧警報システム	時計　※1	ラジオ　※2	トリップメータ	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ	サンルーフ
作動状況	正常に作動せず	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず	作動せず
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。
※2：マツダコネクトセンターディスプレイ装着車除く

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談頂きますようお願いいたします。

■サンルーフ
1．エンジンスイッチをONにする。
2．ガラスパネルがチルトアップ位置で停止するまで、チルトアップスイッチを押し続ける。

Top

■CX-7（ER）2016年12月発売～生産終了迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	DSC ダイナミックスタビリティ コントロール	PW パワーウィンド	PRE CRASH MRCC TCS OFF
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	DSC OFF表示灯が点滅、 TCS/DSC作動表示灯が点灯	自動で全開/全閉できなくなる	警告灯が点灯
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3．DSC OFF表示灯が消灯することを確認する。
4．エンジンスイッチをOFFの位置にし、再度ONの位置にする。
5．TCS／DSC作動表示灯が消灯することを確認する。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■PRE CRASH（マツダ・プリクラッシュ・セーフティーシステム）
■MRCC（マツダ・レーダークルーズコントロール）
■TCS（トラクションコントロールシステム）OFF
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．ハンドルを右一杯までまわし、その後左一杯までまわす。
3．エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にし、再度ONの位置にする。
4．警告灯が消灯することを確認する。

Top

■MPV（LY）2006年2月フルモデルチェンジ～

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	DSC ダイナミック スタビリティ コントロール	AFS アダプティブ フロントライティン グシステム	PW パワーウィンド	PRE CRASH MRCC TCS OFF	サンルーフ	電動スライド ドア
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	DSC OFF表示灯 が点滅、 TCS/DSC作動表 示灯が点灯	表示灯が点滅	自動で全開/全閉 できなくなる	警告灯が点灯	作動せず	自動で開閉 できなくなる
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3．DSC OFF表示灯が消灯することを確認する。
4．エンジンスイッチをOFFの位置にし、再度ONの位置にする。
5．TCS／DSC作動表示灯が消灯することを確認する。

■AFS（アダプティブ・フロントライティング・システム）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3．エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にし、再度ONの位置にする。
4．表示灯が消灯することを確認する。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■電動スライドドア
1．スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。
※車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。
※スライドドアが開いた状態でバッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。
※スライドドアが開いた状態でバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。

■サンルーフ
1．エンジンスイッチをONにする。
2．TILTスイッチの後側を押してサンルーフの後側を少し開ける。
3．2．を繰り返し行ってサンルーフの後側が完全に開くまでTILTスイッチの後側を押す。

■PRE CRASH（マツダ・プリクラッシュ・セーフティーシステム）
■MRCC（マツダ・レーダークルーズコントロール）
■TCS（トラクションコントロールシステム）OFF
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．ハンドルを右一杯までまわし、その後左一杯までまわす。
3．エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にし、再度ONの位置にする。
4．警告灯が消灯することを確認する。

■RX-8（SE）2003年4月発売～生産終了迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	DSC ダイナミックスタビリティ コントロール	PW パワーウィンド	サンルーフ
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	DSC OFF表示灯が点滅、 TCS/DSC作動表示灯が点灯	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3. DSC OFF表示灯が消灯することを確認する。
4. エンジンスイッチをOFFの位置にし、再度ONの位置にする。
5. TCS／DSC作動表示灯が消灯することを確認する。

■PW（パワーウィンド）
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■サンルーフ
1. エンジンスイッチをONにする。
2. サンルーフが完全に閉まっている状態からSLIDEスイッチの前側を押し続ける。
   サンルーフが少し沈み込み初期化が完了すると元の位置に戻る。

Top

■アクセラ（BM）2013年11月フルモデルチェンジ～

システム	時計　※1	ラジオ　※2	トリップメータ	PW パワーウィンド	サンルーフ	i-stop アイドリングストップ
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず	作動せず
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。
※2：マツダコネクトセンターディスプレイ装着車除く

■PW（パワーウィンド）
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■サンルーフ
1. エンジンスイッチをONにする。
2. ガラスパネルがチルトアップ位置で停止するまで、チルトアップスイッチを押し続ける。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談いただくようお願いします。

Top

■アクセラ(BL)2011年9月マイナーチェンジ～2013年11月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	AFS アダプティブフロント ライティングシステム	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	表示灯が点滅	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1:ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■AFS(アダプティブ・フロントライティング・システム)
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3. エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にし、再度ONの位置にする。
4. 表示灯が消灯することを確認する。

■PW(パワーウィンド)
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談いただくようお願いします。

Top

■アクセラ（BL）2009年6月フルモデルチェンジ～2011年9月マイナーチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	AFS アダプティブフロント ライティングシステム	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	表示灯が点滅	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■AFS（アダプティブ・フロントライティング・システム）
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3. エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にし、再度ONの位置にする。
4. 表示灯が消灯することを確認する。

■PW（パワーウィンド）
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
1. 暖気後に無負荷で約10分間アイドル放置
2. 充電量初期学習
   ①IG-ON後5秒以内にi-stop OFF SWを3秒以上押す。
   ②エンジンを始動しi-stop OFF SWを1回押す。（i-stopインジケータがGreen点滅を開始）
   ③i-stopインジケータが消灯するまでアイドル放置する。（MAXで約60分程度）
   ④i-stopインジケータが消灯したら車速3km/h以上で走行し、アイドルストップが作動するかどうか確認する。
   ⑤アイドルストップ作動がOKであれば一旦IG-OFF後に再始動する。

   ※アイドルストップが作動しないまたはi-stopインジケータがGreen点滅するなどNGの場合はもう一度最初から行なう。

Top

■アクセラ（BK）2003年10月発売開始～2009年6月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	PW パワーウィンド
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）

1．エンジンスイッチをONの位置にする。

2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。

3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

Top

■アクセラ ハイブリッド（BY）2013年11月発売開始～

システム	時計　※1	トリップメータ	PW パワーウィンド	スロットル学習
作動状況	止まる	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	PCM内の特定の情報が消去され エンジン始動時にガラガラ音が大きくなる
設定方法	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■スロットル学習
ハイブリッド関連の学習が一部ございます。
販売店にご相談いただくようお願いします。

Top

■アテンザ（GJ）2012年11月フルモデルチェンジ～

システム	時計　※1	トリップメータ	PW パワーウィンド	サンルーフ	i-stop アイドリングストップ
作動状況	止まる	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず	作動せず
設定方法	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）
1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談いただくようお願いします。

■サンルーフ
1. エンジンスイッチをONにする。
2. ガラスパネルがチルトアップ位置で停止するまで、チルトアップスイッチを押し続ける。

Top

■アテンザ（GH）2008年1月フルモデルチェンジ～2012年11月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	DSC ダイナミックスタビリティ コントロール	AFS アダプティブフロント ライティングシステム	PW パワーウィンド	PRE CRASH MRCC TCS OFF	サンルーフ
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	DSC OFF表示灯が点滅 TCS/DSC作動表示灯が点灯	表示灯が点滅	自動で全開/全閉 できなくなる	警告灯が点灯	作動せず
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3．DSC OFF表示灯が消灯することを確認する。
4．エンジンスイッチをOFFの位置にし、再度ONの位置にする。
5．TCS／DSC作動表示灯が消灯することを確認する。

■AFS（アダプティブ・フロントライティング・システム）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3．エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にし、再度ONの位置にする。
4．表示灯が消灯することを確認する。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■PRE CRASH（マツダ・プリクラッシュ・セーフティーシステム）
■MRCC（マツダ・レーダークルーズコントロール）
■TCS（トラクションコントロールシステム）OFF
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．ハンドルを右一杯までまわし、その後左一杯までまわす。
3．エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にし、再度ONの位置にする。
4．警告灯が消灯することを確認する。

■サンルーフ
1．エンジンスイッチをONにする。
2．TILTスイッチの後側を押してサンルーフの後側を少し開ける。
3．2．を繰り返し行ってサンルーフの後側が完全に開くまでTILTスイッチの後側を押す。

Top

■アテンザ（GG/GY）2002年5月発売開始～2008年1月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	PW パワーウィンド
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）

1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

Top

■デミオ（DJ）2014年9月フルモデルチェンジ～

システム	時計　※1	ラジオ　※2	トリップメータ	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。
※2：マツダコネクトセンターディスプレイ装着車除く

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談いただくようお願いします。

Top

■デミオ（DE_SKYACTIV）2011年6月マイナーチェンジ～2014年9月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談いただくようお願いします。

Top

■デミオ（DE_SKYACTIV以外）2007年7月フルモデルチェンジ～2014年9月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	PW パワーウィンド
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

Top

■デミオ（DY）2002年8月フルモデルチェンジ～2007年7月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	PW パワーウィンド
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）

1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

Top

■ビアンテ（CC）2013年5月マイナーチェンジ～

システム	時計　※1	トリップメータ	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ	電動スライドドア
作動状況	止まる	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず	自動で開閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談いただくようお願いします。

■電動スライドドア
車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。
スライドドアが開いた状態でバッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。
1．スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。
※スライドドアが開いた状態でバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。

Top

■ビアンテ（CC）2008年7月発売開始～2013年5月マイナーチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ	電動スライドドア
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず	自動で開閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
1．暖気後に無負荷で約10分間アイドル放置
2．充電量初期学習
　①IG-ON後5秒以内にi-stop OFF SWを3秒以上押す。
　②エンジンを始動しi-stop OFF SWを1回押す。（i-stopインジケータがGreen点滅を開始）
　③i-stopインジケータが消灯するまでアイドル放置する。（MAXで約60分程度）
　④i-stopインジケータが消灯したら車速3km/h以上で走行し、アイドルストップが作動するかどうか確認する。
　⑤アイドルストップ作動がOKであれば一旦IG-OFF後に再始動する。
　※アイドルストップが作動しないまたはi-stopインジケータがGreen点滅するなどNGの場合はもう一度最初から行なう。

■電動スライドドア
車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。スライドドアが開いた状態で
バッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。
1．スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。
※スライドドアが開いた状態でバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。

Top

■プレマシー（CW）2013年1月マイナーチェンジ～

システム	時計　※1	トリップメータ	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ	電動スライドドア
作動状況	止まる	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず	自動で開閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■電動スライドドア
車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。
スライドドアが開いた状態でバッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。
1．スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。
※スライドドアが開いた状態でバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談いただくようお願いします。

Top

■プレマシー（CW）2010年7月フルモデルチェンジ～2013年1月マイナーチェンジ前迄

システム	時計　※1	トリップメータ	PW パワーウィンド	i-stop アイドリングストップ	電動スライドドア
作動状況	止まる	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず	自動で開閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）
1．エンジンスイッチをONの位置にする。
2．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■i-stop
1．暖気後に無負荷で約10分間アイドル放置
2．充電量初期学習
　①IG-ON後5秒以内にi-stop OFF SWを3秒以上押す。
　②エンジンを始動しi-stop OFF SWを1回押す。（i-stopインジケータがGreen点滅を開始）
　③i-stopインジケータが消灯するまでアイドル放置する。（MAXで約60分程度）
　④i-stopインジケータが消灯したら車速3km/h以上で走行し、アイドルストップが作動するかどうか確認する。
　⑤アイドルストップ作動がOKであれば一旦IG-OFF後に再始動する。
　※アイドルストップが作動しないまたはi-stopインジケータがGreen点滅するなどNGの場合はもう一度最初から行なう。

■電動スライドドア
車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。
スライドドアが開いた状態でバッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。
1．スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。
※スライドドアが開いた状態でバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。

Top

■プレマシー（CR）2005年2月フルモデルチェンジ～2010年7月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	PW パワーウィンド	サンルーフ	電動スライドドア
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる	作動せず	自動で開閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）

1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

■サンルーフ

1. エンジンスイッチをONにする。
2. サンルーフが完全に閉まっている状態からSLIDEスイッチの前側を押し続ける。
   サンルーフが少し沈み込み初期化が完了すると元の位置に戻る。

■電動スライドドア

車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。スライドドアが開いた状態で
バッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。

1. スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。

※スライドドアが開いた状態でバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。

Top

■ベリーサ（DC）2004年6月発売開始～2015年9月生産終了

システム	時計　※1	ラジオ　※2	トリップメータ	PW
	－	－	－	パワーウィンド
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	自動で全開/全閉できなくなる
設定方法	取扱 説明書	取扱 説明書	無し	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■PW（パワーウィンド）

1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

Top

■ロードスター（ND）2015年5月フルモデルチェンジ～

システム	PW パワーウィンド	時計　※1	ラジオ　※2	トリップメータ	i-stop アイドリングストップ
作動状況	自動で全開/全閉できなくなる	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	作動せず
設定方法	下記参照	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。
※2：マツダコネクトセンターディスプレイ装着車除く

■PW（パワーウィンド）
1．ドア/ソフトトップを閉めます
2．エンジンスイッチをONの位置にする。
3．スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
4．スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

※ドア/ソフトトップ開閉時の窓ガラス自動作動が正常に作動しなくなった時も、上記、操作を行う事で復帰します。

■i-stop
お客様に行って頂ける設定方法はございません。
販売店にご相談いただくようお願いします。

Top

■ロードスター（NC）2005年8月フルモデルチェンジ～2015年5月フルモデルチェンジ前迄

システム	時計　※1	ラジオ	トリップメータ	DSC ダイナミックスタビリティコントロール	PW パワーウィンド
作動状況	止まる	放送局記憶消去	0に戻る	DSC OFF表示灯が点滅、 TCS/DSC作動表示灯が点灯	自動で全開/全閉できなくなる
設定方法	取扱説明書	取扱説明書	無し	下記参照	下記参照

※1：ナビ以外の時計はマツダ車取扱書やオーディオ取扱書を参照してください。ナビの時計は自動復帰します。

■DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）

1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわす。
3. DSC OFF表示灯が消灯することを確認する。
4. エンジンスイッチをOFFの位置にし、再度ONの位置にする。
5. TCS／DSC作動表示灯が消灯することを確認する。

■PW（パワーウィンド）

1. エンジンスイッチをONの位置にする。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にする。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続ける。

Top